

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	銘苅合同会社	代表者	長堂 和男	法人・事業所の特徴	住宅地の民家をリフォームした小さな事業所であり、近所の方やボランティアの方が気軽に訪れている。事業所は自治会の開催するイベントに積極的に参加・協力している。事業所内の厨房で一人一人の要望や噛む力に合わせた食事を提供している。季節の行事や昔ながらの風習を、事業所イベントとして取り組み、楽しく過ごしている
事業所名	小規模多機能ホーム安岡	管理者	園田 美紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	1人	1人	1人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・代表者、管理者が実施している地域での取り組みを普段から職員に伝えるよう心掛けて、事業所自己評価の参考にしてもらおう。	・地域での取り組みを記載した地域交流年間スケジュールを作成し、業務日誌に添付した。事業所自己評価の際に別紙資料として評価の際の参考にした。	・コロナ禍で感染拡大防止の観点で地域と関わることが出来ず、目標達成できない項目が多かった。 ・事業所自己評価の改善計画に関し、職員間で振り返る機会が少なかった。	・事業所自己評価の改善計画に関し、5月、8月のミーティングで、目標達成できたか話し合う。適宜、事業所自己評価の改善計画の達成状況を運営推進会議で報告する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域の方が事業所に入りやすく親しみが持てるように、ブロック塀をフェンスに変えて、事業所の様子を普段より見えるようにする。	・今年初旬に外壁フェンス取り付け工事を実施。同時に飲料の自動販売機を設置。御家族様や、地域の方にも利用していただき、近隣の方との会話のきっかけになっている。	・自動販売機の設置は良いアイデアだと思う。 ・コロナ禍で、事業所に近隣の方が訪れる機会がなかった。	・地域の方が通る道沿いに、季節の花や、緑を植栽し、ホーム安岡を訪れやすい工夫をする。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の方を集めるというだけでなく、チラシの配布や看板の設置等を通して、事業所が地域と関わられるような工夫をする。	・新型コロナウイルス感染拡大防止により事業所来所を控えて頂いていたため、看板設置等実施せず。11月にホーム安岡通信2000部作成し配布した。	・事業所アピールにチラシ配布ハ良いアイデアだと思う。また実施してほしい。 ・事業所の場所がわかりやすく、案内等、看板設置してはどうか。	・小規模多機能ホーム安岡を知って頂くために、チラシ配布や、看板設置を行い、地域の方にアピールする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・岡野区自治会や安謝新都心自治会の地域清掃に参加し、地域の方と情報交換する。	・今年3月に岡野区自治会地域清掃活動に参加しましたが、その後コロナ禍の為、清掃活動中止となっている。	・今後、感染防止を行いながら、利用者様の要望を伺い、気軽に外出する機会が設けられたらいいと思う。 ・地域包括支援センターや、民生委員さんと連携を図り、情報を得てみてはどうか。	・地域包括支援センターや民生委員さんと連携を行い、情報交換できるような取り組みを行う。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・運営推進会議にて、地域との関わりを通じて、地域の心配な方の情報を提供し、事例検出出来る様工夫する。	・今年度、運営推進会議が事業所内での開催が続いたため、地域の心配な方の事例検討を実施する事が出来なかった。	・地域包括支援センター安謝さんと情報交換を行い、地域の心配な方の事例検討は今後実施したい。 ・運営推進会議で地域でのイベント、自治会での活動等も情報交換したい。	・地域包括支援センター安謝さんや、安謝新都心自治会さん、民生委員さんに継続して運営推進会議に参加して頂き、情報交換や地域で心配な方の事例検討を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	① 運営規定を改定し、台風時の対策を盛り込んだ災害火災対策を追記する。 ② 那覇市の防災訓練に参加する。	① 運営規定を改定し、非常火災対策を新たに追記した。 ② 令和3年11月5日に全県下で実施された「沖縄県広域地震、津波避難訓練」に参加した。	・ホーム安岡近くに安謝川が流れているので津波発生時の訓練を今後も実施したい。 ・運営推進会議で備蓄品の報告や、防火訓練に地域の方が参加すると評価の際「わからない」が「はい」になると思う。	・那覇市のハザードマップを確認し、地震、津波発生時、全利用者様の避難計画を立て、訓練を実施する。